

ゆう気をちよつと出して

東部小・1 すずき かんた

ぼくがなつ休みに、いちばんドキドキ、ワクワクしたことは、サッカークリニックのバスえん足です。

パパやママがいないこと、バスにのつてもだちと出かけること、はじめてあう子がいること、いっぱい、はじめてのことがあります。ふあんもいっぱいあったけど、さいごまでたのしくできたことがいちばんのおもしろいです。

バスの中では、よいやすいともだちに、気もちわるくならないようによいどめをあげたり、サッカーがたのしみで

「つくのがおそいね。」
と、はなしたりしました。

こうえんについては、トレーニングマッチをしました。ぼくには、なかよしのともだちがいるけれど、いつもサッカークリニックのおなじよう日でれんしゅうをしても、なかなかおなじチームでできません。きょうもちがうチームかなと、ドキドキしていました。でも、バスえん足では、火よう日チームでおなじチームでたかえました。うれしかったです。ぼくは、なかよし三人がおなじチームだったから、きんちようしたけど、あんしんしてできました。

ぼくたち三人は、たくさんパスをまわしてせめまくりました。そのおかげで、ぼくは、たくさんシュートがきめれました。ともだちもシュートがきまりました。そして、ぼくのチームはぜんしようする

ことができました。とつてもたのしかったです。そのあとは、おべんとうをたべて、こうえんであそびました。おにごっこをしたり、ながいすべりだいであそんだりしました。いままではサッカークリニックのれんしゅうだけだったけど、こうえんでいっしょにあそべて、なかよくなれたともだちがいます。あたらしいともだちができてうれしかったです。バスえん足は、はじめてのことがあって、しんばいなこともあったけど、なかよしのともだちがいてくれたから、いっしょのチームでしあいができたから、じぶんの力をふりしぼれました。だから、ともだちにありがとうがいたくなりました。

ぼくは、はじめてのことがドキドキしてすごくが手です。いつもドキドキするとママにたすけてもらいます。でも、バスえん足では一人でいけて、さいごまでたのしくできました。それは、ともだちがいてくれて、ささえてくれたからです。そして、あたらしいともだちまでつくれました。これからは、ドキドキすることでも、ゆう気を出して、じぶんからやってみたり、ともだちにたすけてもらったりして、あたらしいことにちようせんしたいです。そして、ぼくみたいにこまっているともだちがいたら、こんどはぼくがたすけてあげたいです。